

# 広 報

# たなべ

(昭和40年度建設事業工事竣功特集)

田 辺 町 役 場

電話田辺271~274

発行人 京都府田辺町  
役 場 公 室

印刷所 奥田印刷KK

## ふるさとを行く・2



### 松 井

ふるく「松井」という名のおこりを古文書にみると、宮山という西方の原を狭木が原といった時代がありました。そこには雌雄の大きな松の木があり、そのかたわらには井戸があったということです。

そんなところから、松井と名づけられたと、いまに伝えています。

松井は町の北西端にあって八幡町に接しています。いまは町内でも薪部落とならんで、筍の産地として知られています。

現在、人口は986人(男465人、女524人)世帯数は205人で、町内では6番目に大きな部落です。(写真は松井部落)

### 掌ニュース

#### 投票率ベスト・3

◆京都府知事選挙(4月12日)

- 1 飯岡投票所 79.43%
  - 2 天王 " 77.65%
  - 3 普賢寺研修所 " 74.70%
- (町全体では 67.21%)

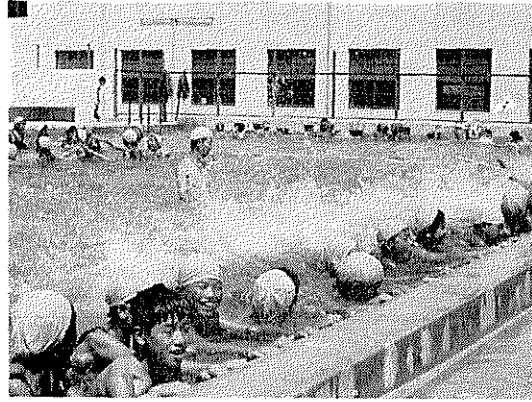
◆参議院京都府選出議員補欠選挙(4月27日)

- 1 飯岡投票所 58.16%
  - 2 天王 " 56.68%
  - 3 松井 " 45.62%
- (町全体では38.84%)

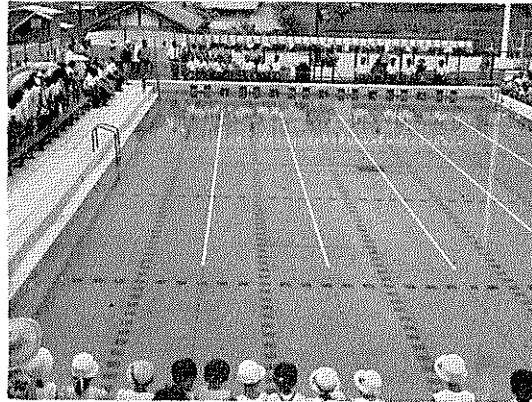
'66.5

No. 43

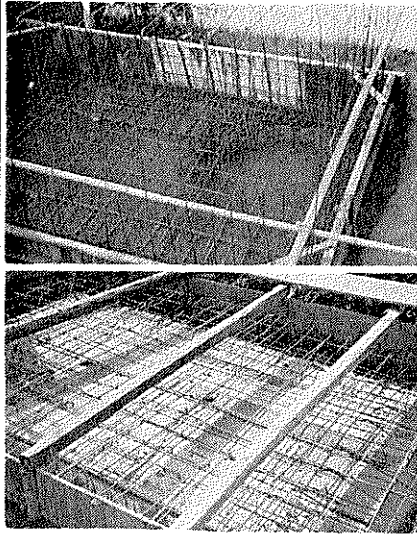
目でみる  
年 譜



こどもたちも喜んだふたつの水泳プール  
(田辺小学校)

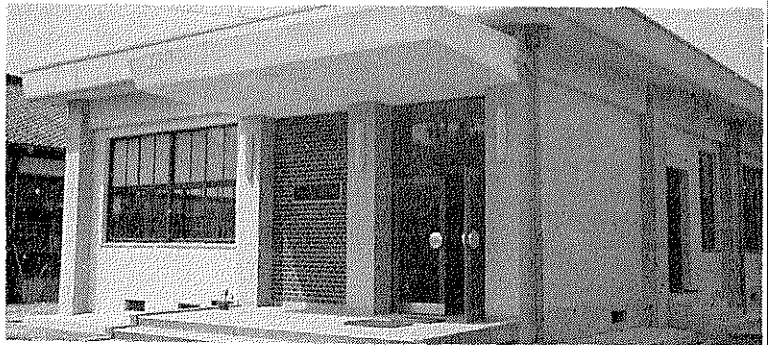
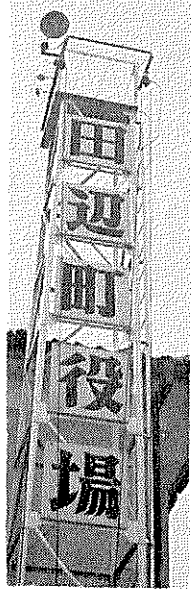


(三山木小学校)



消防力さらに強化!

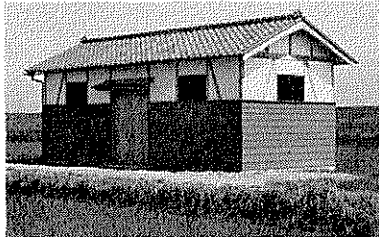
火災を未然に防ぐために町は消防力強化につとめています  
が、このほど三山木と水取に防火水槽(写真上、タテ二・九メ  
ートル、ヨコ四・五メートル深さ三・一メートル、貯水量二十立  
方メートルのコンクリートづくり)役場に監視台(ホース乾  
し兼用)や水防倉庫(写真下、三野区)などをつくりました。



新しくなった草内小本館

全景と廊下)

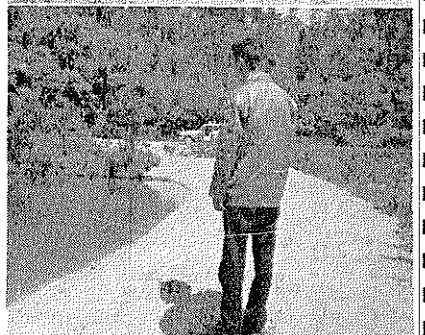
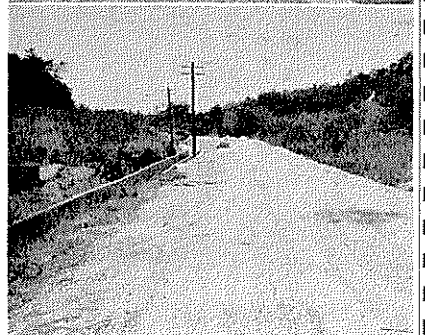
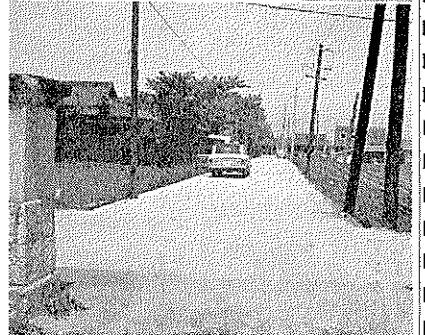
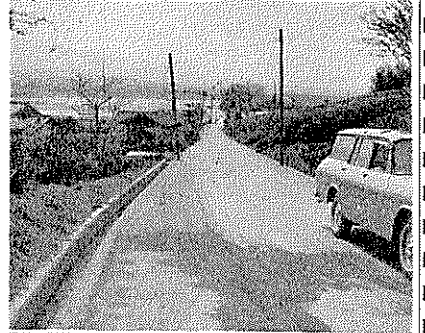
明治八年創立当時の  
草内小学校本館が  
老朽のため改築して  
いましたが、出来上  
りました。  
新しい本館は、鉄  
筋平屋建て二百五十  
平方メートルで、  
総工費六百五十三万  
円です。本館に  
は校長室、職員  
室、保健室、炊事室  
などが完備されてい  
ます。(写真は本館



農免道路できる  
(第一期)

町内草内区(枚方―水  
口線)と山本区(井手―  
東畑線)を結ぶ新しい道  
路の第一期工事が完成し  
ました。この道路のオー  
ブンとともに、町産業の  
開発が期待されます。  
(延長二キロ、巾六メ  
ートル)





### バス道と通学道路舗装

飯岡バス停前から木津川堤防間が舗装されました。巾五メートル、延長二百二十メートルです。  
(飯岡―井手線)

田辺土木工営所から田辺小学校正門までの間、巾五メートル、延長二百二十メートルです。  
(田辺小学校線)

### 駅前広場美しく

府道枚方―水口線分岐点から田辺駅前間が舗装され美しくなりました。巾五・五メートル、延長百メートルです。  
(田辺駅前線)

### 桃林の道広く

大住から枚方へ通ずる山中の道路を新設しました。  
(大住―枚方線)

### 池堤、これで大丈夫!

これで大雨がふつても、大丈夫です。池堤がこのようになりました。  
(興戸―三ツ池築堤)

### 道巾を広く!

狭かった町道がこのように広くなつてゆきます。道路は町の発展の基礎となるものです。  
(東―興戸線)

### 道路新設!

田辺町電話自動化にとまない、新局舎建設に通ずる道を新設しました。  
(針ヶ池・蕪木線)

### 興戸と河原を結ぶ

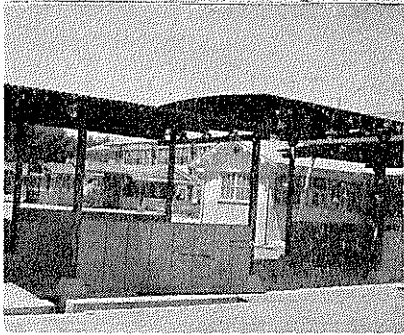
ふるく京街道として親しまれた興戸と河原を結ぶ道路が改良され新しい脚光を浴びています。  
(写真は改良中のものです)

### 橋はこのように

ことし町は豊道にかかる橋梁向井橋(松井)水取橋(水取)古森橋(東)などを改良しました。  
(写真は完成した古森橋)

### これで

雨には濡れません  
生徒のみさんに不便をかけていた渡廊下ができました。  
(田辺中学校東渡廊下)

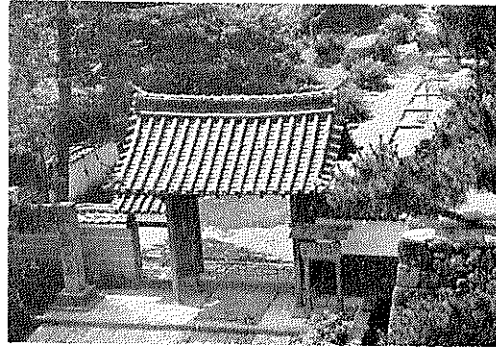


原田 伴彦

(大阪市大教授)

一、田辺町はいつも近鉄で通過するのみで、かつて奈良への見学旅行のおり、一休寺に参詣したことがありません。

二、先年、草内から宇治田原を経て、信楽町を訪れたことがあります。本能寺の変のとき、堺にいた徳川家康が家臣千駄名とともに、野伏、地侍らの目をかすめて、甲賀から伊賀へ廻れたこと



田井喜之介

(詩人)

一、田辺町へは竹村俊則氏「新撰京都名所図会」の取材と写真撮影のために二度。「京都の詩情」の平野威馬雄氏と一休寺へ撮影をかねて一度。最近はそのくらいです。

二、一休寺は観光客に毒されず、大へん静かないところ、庭も印象的でした。かたがと、庭も印象的でした。かたがと、庭も印象的でした。かたがと、庭も印象的でした。

一、そのなで歴史的な興趣の深い感じでした。  
三、田園都市の面影を保存していただきたいと思えます。

島 恭彦

(京大教授)

一、二、三、三度うかがっています。貴地の旧蹟、文化財などをゆつくり拝見したことはあります。

三、一般に人口流動性の高い大都市近郊の町村では、新旧住民の意見や利害の対立があるも

のですが、貴地の自然、旧蹟、文化財はぜひ守っていただきたいと思えます。目先の利益のために、そのような大切なものを破壊する市町村があまりに多いからです。

保田与重郎

(評論家)

小生が田辺、三山木附近の社寺を見て歩いたのは、昭和改元当時でしたから四十年になります。一休寺の近くの甘南備寺も記憶に残っています。近ごろは風景すっかり変わりました。

アンケート 田辺を思う

質問

- 一、田辺町にお越しになったことがありますか。
- 二、田辺町でとくに印象に残ったことはありますか。
- 三、これからの田辺町はどのような方向を目指せばよろしいでしょうか。

(先着順・敬称略・原文のまゝ)

キ塗りの売店や立札はほしくありません。しかし道しるべは絶対なくさんほしい。古風な石標にするか、パンガロ風な田舎風な青竹を使ったような道しるべがほしい。どこでもドライブ道のカンタンな地図がもらえるようにしてほしい。

中川 正文

(京都女子大教授)

一、数年まえまでは、たびたびうかがいました。  
二、特別にありません。  
三、やはりベツトタウンとなると思います。そのためには、幼稚園や保育所はじめ、教育機関の充実を中心をおいてくだされば……と存じます。あの町に住めば、こどものことだけは安心だ。という信頼感が大切でしょう。

代今 東光

(作家)

せつかくのお申越しのアンケートに対し先生は一度も田辺町にまいったことがありませんので残念

プロパンは屋外に

ここ数年、各家庭のプロパンガスの使用が急激にふえています。いま府下では、二十二万世帯に普及しています。このような急激な普及からプロパンの火災も年々数多くなりま



とはいえません。プロパンの使用には、ぜひつぎのことがらを守ってください。  
一、ボンベは屋外へ出し、金属管を使って配管工事を早くしてください。この場合、直射日光のあたるところや、雨にぬれる位置はさけてください。ふるいゴムホースはすぐ取り替え、ホースバンドは必ずつ

けましょう。  
一、ゴムホースを長くのばして使わないように。(最長で二メートルまでです)  
一、ガス臭いときは、まず戸や窓をあけ、つぎにボンベの元バルブを閉めてすぐに販売店へ連絡を。  
一、夜寝る前と外出前には元バルブをしめる習慣をつけよう。そして使用するときは、安全弁や調整器に手を解れないようにし、取りつけ、取りはずしは販売店にまかせましょう。家庭用の十五キログラム型以上のボンベは必ず配管工事をして使用しましょう。

プロパンは屋外に

う。きれいな空気や土……こどもを育てるには絶好の土地ですので、どうかよろしくおねがいいたします。

川勝政太郎

(古美術研究家)

一、田辺町へは三十回ぐらいい行っています。  
二、自分のみる門の事では、やはり一休寺の環境です。  
三、こういうことは不得手で、ゆつくり考えないとお返事できません。

猪熊 兼繁

(京都女子大教授)

一、もう四十年近い昔には毎日のように田辺附近を通り、いつも飲んでいました。戦後は一回ぐらいい。

赤松 俊秀

(京大教授)

一、府文化財保護課長を退任するまで主として文化財保護の職務

二、田辺には深い印象があります好きです。一休さん。大御堂。あの干手さん……その他多々。